

6/15  
 2010年第1045号  
 (毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会  
 敬愛会  
 志岐  
 大発行人  
 大阪府浪速区幸町1-2-33  
 電話(06)6568-7731(代表)  
 http://osk-net.org/  
 ●定価・年間10,000円 月1,000円  
 ●1977年5月23日第三種郵便物認可



「所得格差が口腔格差に」と指摘する  
 岩倉政城氏(右)＝5月29日、大阪市内

## 「保険でよい歯科」連絡会結成

### 患者とともに医療充実めざす

誰もがお金の心配をせずに十分な歯科治療が受けられる「保険でよい歯科医療」の実現を目指して5月29日、歯科医師や市民ら125人が集まり、「保険でよい歯科医療を」大阪連絡会を結成した。

「保険でよい歯科」の結成は、東京、千葉、愛知、長野、兵庫、大阪、京都、奈良、和歌山、徳島、高松、香川、岡山、広島、山口、福岡、佐賀、熊本、鹿児島、沖縄の各都府県に続き、全国で6番目。そして、患者・住民が一体となり、歯科医療充実を求める取り組みが重要になっている。

今後、歯科保険制度の矛盾を世論に訴え、保険範囲の拡大や診療報酬増、患者窓口負担軽減などを求めていく。

伊津進弘理事長はあいさつで、90年代の「保険でよい入れ歯」運動を振り返り、「歯科医師・技工士・衛生士・患者が声を上げ、全国の半数以上

#### 閉塞状況打開するのは世論

「口からみえてくる格差と貧困」のテーマで講演した岩倉政城氏(尚絅学院大学総合人間科学部教授)は、歯科診療代の

の自治体で意見書が採択された結果、総義歯の診療報酬4割増につながり、保険でよい入れ歯を入られるようになり」と強調。その上で、「国民により歯科医療を提供することで社会保障を充実させ、健康で豊かな生活を送れる国にしていきたい」と語った。

顎口蓋裂児の歯列矯正の保険適用を求め、その親と歯科医師が運動で成果を勝ち取った例を紹介。「医療を変えるには、世論の力しかない。歯科の窮状を克服に国民に訴えない限り、本当の歯科の改革は得られない」と締めくくった。

総会では、会の名称や保険適用を承認し、世話人は、協会の小澤力副理事長と寺嶋洋幸理事を含め、5団体から7人を選出。大阪歯科技工士連絡会の西川勝美氏が総会アピールを提案、満場の拍手で確認した。また、山下芳生参院議員

(共産)が出席し、「保険でよい歯科」を国政でもしっかりと反映させた。いよいよ実現した。

【国会議員】  
 長尾敬(民・衆)、長安豊(民・衆)、辻恵(民・衆)、竹本直一(自・衆)、吉井英勝(共・衆)

【市長】  
 辻 宏康(和泉市)  
 神谷 昇(泉大津市)  
 【議会議員】  
 舟戸良裕(大阪府議会)  
 村田文雄(門真市議会)  
 【団体】  
 大阪府保険医協会  
 5市会議員団

#### 歯界

ボヤキスト  
 と言えば楽天の野村名譽監督が有名だが、4人に1人のありふれたキャラとも言える。歯科医も暇たばやき、忙しいとばやきのもいる。同じ年格好の開業医が抱えている借金とほぼ同額の退職金を手に「明日から失業する」とぼやく大学教授もいた。

#### 指導担当の歯科技官増

##### 選定理由「通報」が最多

社保研究部

協会社保研究部は5日、6月から始まる今年度の新規個別指導に合わせた「新規個別指導対策講習会」を開き、22人が参加した。講師は安積中理平尾氏は、今年度の個別指導の特徴は、近畿厚生局指導課の歯科技官が一人増えたこと、個別指導の患者リストが「4日前に15件、前日に15件ファクス」されるようになったことだと紹介した。

また、新規個別指導の実施通知では、診療報酬改定に伴う持参物の変更や「歯科保険医療機関の現況」に「明細書の発行有無」などが新たに追加記載しなければならぬと解説した。

個別指導の選定理由は、患者や元従業員、保険者などによる「通報」が最多。患者は「医療費通知と領収証の金額に差

異があった場合、関係機関に問い合わせる」ことがあり、その結果、個別指導につながることを紹介。指導に対しては「個別指導心得10カ条」にもとづく心構えを持つてほしいと呼びかけた。

安積氏は、指導対策に最も有効な手段は「日常のカルテ記載と整備にある」と説明。レセコンや電子カルテに頼り過ぎると、医学管理や検査結果の記載が画一的になりやすいので注意してほしいと強調した。

同氏は、指導が強化されている背景に、政府の医療費抑制策があると指摘。行政刷新会議の事業仕分けでは、「医療費給付の適正化」予算事業に「指導監査業務等の標準化・統一化を行い、さらなる指導・監査の充実を図る」とされており、厚労省が個別指導の実施件数を増やそうとしている根拠を明らかにした。

個別指導に対しては、「平常心で臨んでほしい」と呼びかけ、協会もできる限りの支援をしていくことを訴えた。

他人を羨ましがるのは理性で押さえないければならぬ卑しい悪性格だが、情報氾濫の時代に他人の花が赤く見えてがた。時代劇を観ていると殿様や王様の一族は権力を争って身内で殺しあいをする。平和な時代に家族が仲のいい庶民は幸せである。

低医療費のもとの歯科医も苦闘しているが、医療費どころか喰うに困る格差社会の底辺の人々への同情心は為政者でも成功者でなくとも失いたくない。

#### 医療・社会保障の行方

##### 2010参院選

二宮厚美 神戸大学教授



大方の予想に反して、6月第1週にはあわただしく鳩山首相の辞任、政権の誕生という民主党内でのいわば「ミニ政権交代」が起った。「ミニ政権交代」とは、民主党内の鳩山・小沢ラインに代わって「菅・七奉行」

#### 菅政権の主流は構造改革派

##### 七奉行の「ミニ政権交代」

「ミニ政権交代」とは何を意味することになるか。まず、鳩山と菅にはそれほど大きな違いはないから、「ミニ政権交代」の意味は、主に、小沢と七奉行の違いに求められる。「七奉行」とは、前原誠司、枝野幸男、仙石由人、野田佳彦等の反小沢派の面々をさす。彼らは、民主党にそっくりいって、その下半身を構成する新自由主義派の代表である。これに対して、小沢は、民主主義マニフェストというおける小沢と七奉行の違いは、下半身が目ざした自民党型利益誘導政治の破壊方式の違いにあった。七奉行は、政官財トライアングルの利益誘導政治を新自由主義によって文字とおりに破壊しようとする。これに対して、小沢は心にならなくなった「事業仕分け作業」にみることにできる。医療分野を例にとり、彼らは、医師会の影響力、医師連盟と結びついた族議員、

これに対して、小沢は自民党流の利益誘導政治を奪い取り、民主党のもとに組み入れる方式を採用した。歯科医師会を小沢のもとにたぐりよせ、その見返りとして、診療報酬改定で医療(1・74%アップ)よりも歯科(2・09%アップ)を優遇したのは、このことを物語るものであった。

医療・歯科の持つ票田を自民党から奪い取って民主党のものにしてしまうと、小沢派が後退し、菅政権のもとで、医療費の抑制を基調とする新自由主義的構造改革の七奉行派が主流に躍り出たと、これが民主党内で起こった「ミニ政権交代」の意味である。メディアが報道しないこのマスコミの盲点をいま私たちは見ておかなければならぬ。

紙面へのご意見や感想、投稿記事などを新聞部までお寄せください。紙面に掲載させていただいた場合は、図書カード3千円分を進呈いたします。(郵送やファクスで、協会新聞部までお寄せください)